

2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月9日

上場会社名 アネスト岩田株式会社
 コード番号 6381 URL <https://www.anestiwata-corp.com/jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 深瀬 真一

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 入部 貴義

TEL 045-591-9344

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	9,999	9.9	820	8.1	1,291	15.9	808	15.5
2022年3月期第1四半期	9,100	31.6	893	117.8	1,114	98.5	700	61.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,149百万円 (24.0%) 2022年3月期第1四半期 1,733百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	19.96	
2022年3月期第1四半期	17.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	56,456	41,223	64.6
2022年3月期	55,818	40,210	63.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 36,447百万円 2022年3月期 35,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		13.00		17.00	30.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		15.00		16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,500	5.6	2,430	2.1	2,750	3.0	1,700	0.7	41.63
通期	44,000	3.9	4,900	2.5	5,650	1.4	3,580	1.1	87.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	41,745,505 株	2022年3月期	41,745,505 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,284,292 株	2022年3月期	1,089,092 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	40,514,963 株	2022年3月期1Q	41,078,157 株

当社は、2020年3月期より業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益の算定において、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績及び財政状態に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績及び財政状態に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

①概要及び経営成績

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、経済活動の正常化が進む一方で、半導体をはじめとする部材不足の拡大、原材料価格や資源価格の高騰、物流の混乱などにより先行き不透明感が高まりました。

日本経済におきましては、消費の持ち直しや設備投資の回復により景況感は改善傾向となったものの、世界経済の先行き不透明感の高まりなどが下押し要因となり力強さを欠く状況が続いております。

このような状況のなか、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高9,999百万円（前年同四半期連結累計期間対比9.9%増）、営業利益820百万円（同8.1%減）、経常利益1,291百万円（同15.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益808百万円（同15.5%増）となりました。

(ご参考値) 事業部別の状況

(単位：百万円)

事業部 (製品区分)	当第1四半期連結累計期間 2022年4月1日～2022年6月30日	
	連結売上高 (前年比)	連結営業利益 (前年比)
エアエナジー事業部	6,101 (11.5%)	505 (12.9%)
圧縮機	5,583 (10.3%)	
真空機器	518 (25.8%)	
コーティング事業部	3,897 (7.4%)	315 (△29.3%)
塗装機器	3,726 (12.5%)	
塗装設備	171 (△45.9%)	
合計	9,999 (9.9%)	820 (△8.1%)

(注) 事業部別の連結営業利益は、当社グループ独自の基準により算定しております。

②セグメントの業績

当社グループで採用しております所在地別のセグメントの状況は以下のとおりです。なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の(セグメント情報等)をご参照ください。

日本

売上高は5,051百万円（前年同四半期連結累計期間対比3.1%減）、セグメント利益は490百万円（同28.4%減）となりました。利益の減少は、主に原材料価格の高騰に起因して仕入価格が上昇したことなどによるものです。

圧縮機製品では、電動機及び電装機器等における供給不足の影響を受けて、売上は減少しました。なお、当第1四半期連結会計期間の後半には一部の部材においては調達状況が改善傾向に転じております。

真空機器製品では、半導体市場の好況に後押しされた半導体製造関連装置向け真空ポンプの需要拡大は緩やかになりつつありますが、売上は好調に推移しております。

塗装機器製品では、スプレーガンの売上が堅調に推移しました。一方で、塗装ブースは、当第1四半期連結会計期間後半から受注状況において緩やかな回復の兆しが見られたものの、結果として売上は減少しました。これにより、総じて売上は減少しました。

塗装設備製品では、自動車部品塗装向け塗装設備を中心として、前連結会計年度に受注した案件を着実に納入したことで、売上が伸長しました。

欧州

売上高は1,790百万円（前年同四半期連結累計期間対比21.7%増）、セグメント利益は136百万円（同25.4%減）となりました。利益の減少は、主に人件費並びに塗装機器製品の販売促進活動に係るコストの増加などによるものです。

圧縮機製品では、EU諸国内においてオイルフリー圧縮機の売上が好調に推移しました。

真空機器製品では、売上は堅調に推移しており、新規顧客の開拓に着手したことで更なる売上の伸長を図っております。

塗装機器製品では、自動車補修市場向けスプレーガンの需要が安定して推移したため、売上は伸長しました。

米州

売上高は1,332百万円（前年同四半期連結累計期間対比13.6%増）、セグメント利益は153百万円（同12.8%増）となりました。

圧縮機製品では、ブラジルにおける医療向け圧縮機を中心として売上が伸長しました。

真空機器製品では、装置メーカー向けを主とした真空ポンプの売上が伸長しました。

塗装機器製品では、前事業年度に実施した事業の一部譲受によって販路開拓ができたことで、自動車補修市場向けスプレーガンの売上が堅調に推移しました。加えて、木工家具市場向けのスプレーユニット販売が増加し、売上は伸長しました。なお、エアブラシにおいては、巣籠もり需要を発端とする特需に一服感が見られました。

中国

売上高は2,320百万円（前年同四半期連結累計期間対比24.3%増）、セグメント利益は105百万円（同535.2%増）となりました。利益の増加は、主に現地子会社の販売管理費率が低下したことなどによるものです。

圧縮機製品では、中国国内向け販売が好調に推移しました。

真空機器製品では、半導体製造関連装置向け真空ポンプにおける需要が拡大したことで、売上が伸長しました。

塗装機器製品では、コンピュータ、携帯電話、家電などの3C市場といわれる一般工業塗装市場向けにスプレーガンの販売が増加しました。

塗装設備製品では、前連結会計年度の大型案件有無の反動により、売上は減少しました。

その他

売上高は2,109百万円（前年同四半期連結累計期間対比21.2%増）、セグメント利益は311百万円（同41.3%増）となりました。

圧縮機製品では、インドにおいて医療向け及び車両搭載向け圧縮機の売上が伸長しました。

真空機器製品では、韓国や台湾において半導体製造関連装置向け真空ポンプの売上が堅調に推移しました。

塗装機器製品では、東南アジアにおいて経済活動の正常化に伴い、売上は伸長しました。

塗装設備製品では、前連結会計年度の大型案件有無の反動により、売上は減少しました。

③財政状態の分析

資産は、流動資産が34,676百万円（前連結会計年度比1.0%増）となりました。これは主に、「原材料及び貯蔵品」が663百万円増加したことなどによるものです。固定資産は21,779百万円（同1.3%増）となりました。これは主に、「建物及び構築物（純額）」が87百万円増加したことなどによるものです。その結果、総資産は56,456百万円（同1.1%増）となりました。

負債は、流動負債が11,096百万円（同4.5%減）となりました。これは主に、「未払法人税等」が445百万円減少したことなどによるものです。また、固定負債は、4,136百万円（同3.6%増）となりました。これは主に、生産設備の導入に伴い「その他」に含まれるリース債務が92百万円増加したことなどによるものです。その結果、負債合計は15,232百万円（同2.4%減）となりました。

純資産は、41,223百万円（同2.5%増）となりました。これは主に、円安により「為替換算調整勘定」が894百万円増加したことなどによるものです。また、純資産より非支配株主持分を除いた自己資本は36,447百万円となり自己資本比率は前連結会計年度末の63.8%から0.8ポイント増加し64.6%となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の連結業績予想及び配当予想は、2022年5月10日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,319,597	13,964,499
受取手形及び売掛金	8,004,883	7,658,385
商品及び製品	6,326,762	6,429,687
仕掛品	1,280,101	1,341,995
原材料及び貯蔵品	3,222,945	3,886,596
その他	1,434,802	1,682,012
貸倒引当金	△262,772	△286,308
流動資産合計	34,326,320	34,676,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,193,424	5,280,851
その他（純額）	6,255,105	6,425,741
有形固定資産合計	11,448,530	11,706,592
無形固定資産		
のれん	981,998	965,711
その他	2,324,697	2,483,598
無形固定資産合計	3,306,695	3,449,309
投資その他の資産		
投資有価証券	4,530,045	4,404,947
その他	2,217,671	2,229,454
貸倒引当金	△10,725	△10,725
投資その他の資産合計	6,736,991	6,623,676
固定資産合計	21,492,217	21,779,579
資産合計	55,818,537	56,456,447

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,225,044	5,473,723
短期借入金	867,228	924,162
未払法人税等	902,879	457,713
賞与引当金	751,950	405,746
その他の引当金	336,655	276,644
その他	3,532,522	3,558,901
流動負債合計	11,616,282	11,096,892
固定負債		
退職給付に係る負債	2,231,837	2,240,773
役員株式給付引当金	136,788	157,192
その他	1,623,624	1,738,105
固定負債合計	3,992,250	4,136,071
負債合計	15,608,532	15,232,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,354,353	3,354,353
資本剰余金	1,008,864	1,008,864
利益剰余金	31,245,575	31,360,026
自己株式	△1,025,936	△1,185,263
株主資本合計	34,582,856	34,537,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378,134	350,229
為替換算調整勘定	679,490	1,573,816
退職給付に係る調整累計額	△17,285	△14,744
その他の包括利益累計額合計	1,040,339	1,909,301
非支配株主持分	4,586,809	4,776,201
純資産合計	40,210,005	41,223,483
負債純資産合計	55,818,537	56,456,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	9,100,889	9,999,160
売上原価	5,018,197	5,613,722
売上総利益	4,082,691	4,385,438
販売費及び一般管理費	3,189,314	3,564,539
営業利益	893,377	820,898
営業外収益		
受取利息及び配当金	52,148	42,268
為替差益	53,913	344,085
持分法による投資利益	75,953	74,460
その他	64,227	33,023
営業外収益合計	246,243	493,838
営業外費用		
支払利息	14,491	13,106
その他	10,424	9,843
営業外費用合計	24,915	22,949
経常利益	1,114,704	1,291,787
特別利益		
固定資産売却益	648	2,573
特別利益合計	648	2,573
特別損失		
固定資産除売却損	851	1,055
特別損失合計	851	1,055
税金等調整前四半期純利益	1,114,501	1,293,306
法人税、住民税及び事業税	232,112	263,864
法人税等調整額	61,895	59,999
法人税等合計	294,007	323,864
四半期純利益	820,493	969,442
非支配株主に帰属する四半期純利益	120,199	160,771
親会社株主に帰属する四半期純利益	700,293	808,670

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	820,493	969,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,074	△27,904
為替換算調整勘定	719,854	1,056,756
退職給付に係る調整額	29,747	2,540
持分法適用会社に対する持分相当額	116,798	149,137
その他の包括利益合計	913,474	1,180,529
四半期包括利益	1,733,967	2,149,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,412,019	1,677,632
非支配株主に係る四半期包括利益	321,948	472,339

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2019年6月25日開催の第73期定時株主総会決議に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役、及びそれ以外の取締役のうち社外取締役であるものを除く。）及び取締役を兼務しない執行役員（以下、「取締役等」という。）を対象に、中長期的な業績の向上と企業価値の増大、株主重視の経営意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」（以下、「本制度」という。）の導入をしています。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が設定する信託（以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」という。）が、当社より拠出する金銭を原資として当社株式を取得し、本信託を通じて取締役等に対して、当社が定める株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭（以下、「当社株式等」という。）が給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する当社株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価格（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末における自己株式の帳簿価格は179,733千円、株式数は180千株であり、当第1四半期連結会計期間末における自己株式の帳簿価格は179,733千円、株式数は180千株です。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	日本	欧州	米州	中国	その他 (注)	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,537,397	1,400,777	1,073,210	1,728,230	1,361,273	9,100,889
外部顧客への売上高	3,537,397	1,400,777	1,073,210	1,728,230	1,361,273	9,100,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,678,048	71,108	99,628	139,349	379,326	2,367,461
計	5,215,446	1,471,886	1,172,839	1,867,579	1,740,600	11,468,351
セグメント利益	685,080	182,582	136,516	16,575	220,474	1,241,228

(注)「その他」の区分は、台湾、インド、タイ、韓国、ベトナム、インドネシア、オーストラリア及び南アフリカの現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,241,228
全社費用(注)	△238,217
セグメント間取引消去	△109,633
四半期連結損益計算書の営業利益	893,377

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「米州」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に米国の当社連結子会社であるANEST IWATA USA, Inc.が、Automotive Spraying Equipment Technologies, LLCより塗装機器製品の販売事業の一部を取得しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は142,312千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	日本	欧州	米州	中国	その他 (注)	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,315,838	1,737,501	1,236,887	2,067,858	1,641,075	9,999,160
外部顧客への売上高	3,315,838	1,737,501	1,236,887	2,067,858	1,641,075	9,999,160
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,735,942	53,489	95,872	252,807	468,426	2,606,538
計	5,051,781	1,790,990	1,332,760	2,320,665	2,109,501	12,605,699
セグメント利益	490,805	136,121	153,922	105,284	311,433	1,197,567

(注)「その他」の区分は、台湾、インド、タイ、韓国、ベトナム、インドネシア、オーストラリア及び南アフリカの現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,197,567
全社費用(注)	△246,020
セグメント間取引消去	△130,647
四半期連結損益計算書の営業利益	820,898

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメントである「日本」、「ヨーロッパ」及び「アジア」の3区分を変更し、「日本」、「欧州」、「米州」、「中国」及び「その他」の5区分を報告セグメントとしております。この変更は、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画「500&Beyond」の策定に伴い、同計画における経営戦略と整合させることを目的としてエリア管理区分を見直し、報告セグメントの区分を変更したものであります。

この結果、「アジア」に区分していた現地法人の事業活動について、「中国」及び「その他」に区分を変更しております。また、報告セグメントに含まれない事業セグメントとして区分していた現地法人の事業活動について、ロシアを「欧州」、アメリカ・メキシコ・ブラジルを「米州」、オーストラリア・南アフリカを「その他」に区分を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。